



## ロータリー：変化をもたらす

RI会長/イアンH.S.ライズリー

D2600ガバナー/関 邦則

会長/佐藤重喜

副会長/宮本伸司

幹事/河野正美

会報委員長/奥寺浩司

### 第2625回例会

2017年6月22日 Vol.55/No.3

#### 暑気払い夜間例会

##### 【会長挨拶

佐藤重喜会長】



皆さん今晚は。  
今日は、服部正さんに設営してもらいました。  
ジンギスカンで暑さを吹き飛ばしましょう。

##### 【例会の記録】

- ◆S A A 小山充浩さん
- ◆司 会 掛川浩邦さん

##### 【出席報告】

	会員数	出席者	メイク	出席率
本 日	34名	15名		60.00%
前々回	34名	15名	8名	92.00%

##### 【幹事報告

河野正美幹事】

##### 今週の着信

- ・第2600地区事務所より  
九州北部集中豪雨災害義捐金の依頼  
スリランカ洪水被害義捐金依頼  
米山記念奨学会、財団セミナー開催案内
- ・上田ローターアクトクラブより  
「上田わっしょい」屋台出店の案内

##### 【にこにこBOX報告】

「主人の誕生日です。いつも欠席で申し訳ございません。」 桜井光子さん  
「初めて夜間例会に参加しました。今後とも宜しくお願いします。」 吉村香織さん  
「24日で39歳になりました。」 奥寺浩司さん  
「皆さん今日は楽しみましょう。」 河野正美さん  
「ビールだ！ビールだ！」 田中利幸さん  
「今日は楽しみです。」 小山充浩さん

佐藤重喜さん、山田裕さん、小宮山陽さん  
内堀敏高さん、長島三夫さん、井田宗広さん  
服部正さん、栗木悦郎さん、掛川浩邦さん

本日の喜投金額 18.000円  
累計金額 732.000円



## ＜ロータリーの主な言葉＞

### ○ 奉仕の理想 (Ideal of Service)

「何処においてもロータリークラブにも、一つの基本となる理念を大切にしている、それは他人を思いやり、そして他人のために尽くすことである」  
(チェスレー・ペリー)

“ Rotary clubs everywhere have one basic ideal the “Ideal of Service”, which is thoughtfulness of and helpfulness to others. ”

### ○ 超我の奉仕 (奉仕の哲学) : “ Service above Self ”

### ○ 最もよく奉仕する者、最も多く報いられる (実践倫理)

: “ He profits most who serves best ”

/ One (He/She) profit most who serve best

### ○ 「ロータリーの目的」 The Object of Rotary

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある:

The Object of Rotary is to encourage and foster the ideal of service as a basis of worthy enterprise and, in particular, to encourage and foster:

#### 第1

知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること;

#### 第2

職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること;

#### 第3

ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること;

#### 第4

奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

(付記)

「ロータリーの目的」の4つの項目は、等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならぬものであるということで、RI理事会の意見が一致した。(ロータリー章典26.020)

### ○ 五大奉仕部門・ロータリーの活動

五大奉仕部門とは

ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的および実際的な基準である

1. 奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。
2. 奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うことが含まれる。
3. 奉仕の第三部門である社会奉仕は、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。
4. 奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動からなるものである。
5. 奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

※新世代奉仕は2010年4月の規定審議会で採択され、五大奉仕部門となった。

※新世代奉仕は「青少年奉仕」へ名称変更 (2013年4月規定審議会で採択)

参照: ロータリージャパン・・・[五大奉仕とは](#) (2010年7月以降適応)